

No.	ご意見	回答
1	<p>現在の可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、プラスチックごみなどの仕分けは、市民の間にかなり定着しているのではないだろうか。後さらに徹底するとすれば、ポリ袋に添付してある商標、商品説明書などのステッカーをはがし易い糊で貼り付けてもらえば、更にプラスチックごみの回収率は上がるのではなからうかと考えます。</p>	<p>近年、製品開発が進み、次々に新しい技術や商品が生まれ出されていますが、ポリ袋等に貼り付けてあるラベル等については、はがしづらいものも多くあります。市としては、市長会等を通じての要望活動とともに、県や国等を通じ、産業界等への働きかけにも努めていきたいと考えています。</p>
2	<p>スーパーのレシート、キャラメルなどお菓子の空き箱、タバコの空き箱は資源ごみで出していいのでしょうか。</p>	<p>多くのスーパーで使用されている感熱紙製のレシート（光沢があり、爪でひっかくとあとが残るもの）は資源化に適さず可燃ごみですが、それ以外のレシートは「資源品（雑誌・ざつ紙類）」になります。キャラメルなどお菓子の空き箱は、紙製であれば「資源品（雑誌・ざつ紙類）」です。タバコの空き箱は、内側についているアルミ製の銀紙が付いたままだと可燃ごみとなりますが、銀紙をはがしていただければ資源品（雑誌・ざつ紙類）です。※はがした銀紙は可燃ごみとなります。</p>
3	<p>市の管理下にある一般廃棄物はともかく、一番気になるのは不法投棄ゴミ、ポイ捨てごみで、この15年市内のポイ捨てゴミ拾いをやっておりますが、吸い殻のポイ捨ては一向に減る様子はなく、拾っても拾っても次から次へと捨てられます。路上や草っぱらに捨てられた吸い殻は、雨が降ると雨水溝を経由して最寄りの河川に流れ込み、さらに湖沼へと流されます。その間にフィルターと煙草はばらになり、それを餌と間違えた魚や水鳥が食べ、消化ができないものだから、腸閉そくを起こし死んでしまいます。最近この様な魚や水鳥が急増しており自然環境に大きな影響が出てきているようです。市の基本計画にはポイ捨てゴミについてはほんの数行の記述しかありませんが、もっと真剣にこの問題を考えるべきではないでしょうか。ポイ捨て防止週間の設置、ポイ捨て防止パトロールの強化（ボランティアでもいい）、横断幕やのぼりの設置、学校、職場、家庭へのPR等々行政でなければできないことが多々あります。知恵を絞ってやってもらいたいと思います。</p>	<p>柏市では「柏市美化サポーター制度」を設け、市民・事業者等と市の協働による環境美化活動を実施しています。美化サポーターは、公共の場所等の清掃、ぼい捨て及び不法投棄の監視、ぼい捨て及び不法投棄に関する情報の提供などの活動を行っていただいております。また、近隣16市とともに行う喫煙マナー向上・ぼい捨て防止合同キャンペーン、地域清掃や各駅周辺清掃により地域の環境美化、ぼい捨て禁止看板や横断幕、柏駅前アナウンスなどの啓発活動にも取り組んでいます。ご意見のとおり、ぼい捨て行為は、水、生き物を含めた自然環境の保全とも深く関わることであり、上位計画である環境基本計画においても記載されている部分でもありますので、引き続き関係機関等と連携し、さらなる防止活動の発展と普及啓発に取り組んでまいります。</p>
4	<p>ゴミの収集方法について 近所の80代の方が、ゴミ出しするために車の多い通り（朝特に）を渡って出している、ということを知りました。また、ゴミ収集の車の方を見ていると、ほんとうに忙しく大変な仕事をしていられるんだと思います。高齢化によってゴミ出しが困難になる世帯がどんどん増えていますよね。ぜひ、対策を考えていただきたいと思います。例えば、80才以上の世帯のゴミは個別収集する、小型車で路地にも入って収集する等、打手手はあるはずで。少しずつでも改善できるように、考えていただきたいです。</p>	<p>柏市においても、今後、少子高齢化社会の進展に伴いごみ出し困難者の増加が大きな課題となると予想しています。このような状況を見据え、本計画においても「ごみ出し困難者対策」を施策に掲げています（原案P46）。具体的には、福祉部門と連携しながら、ごみ出し困難者のサポートを行う団体への助成等の検討や、粗大ごみ収集時におけるごみ出し困難者への収集支援の検討に取り組んでまいります。</p>